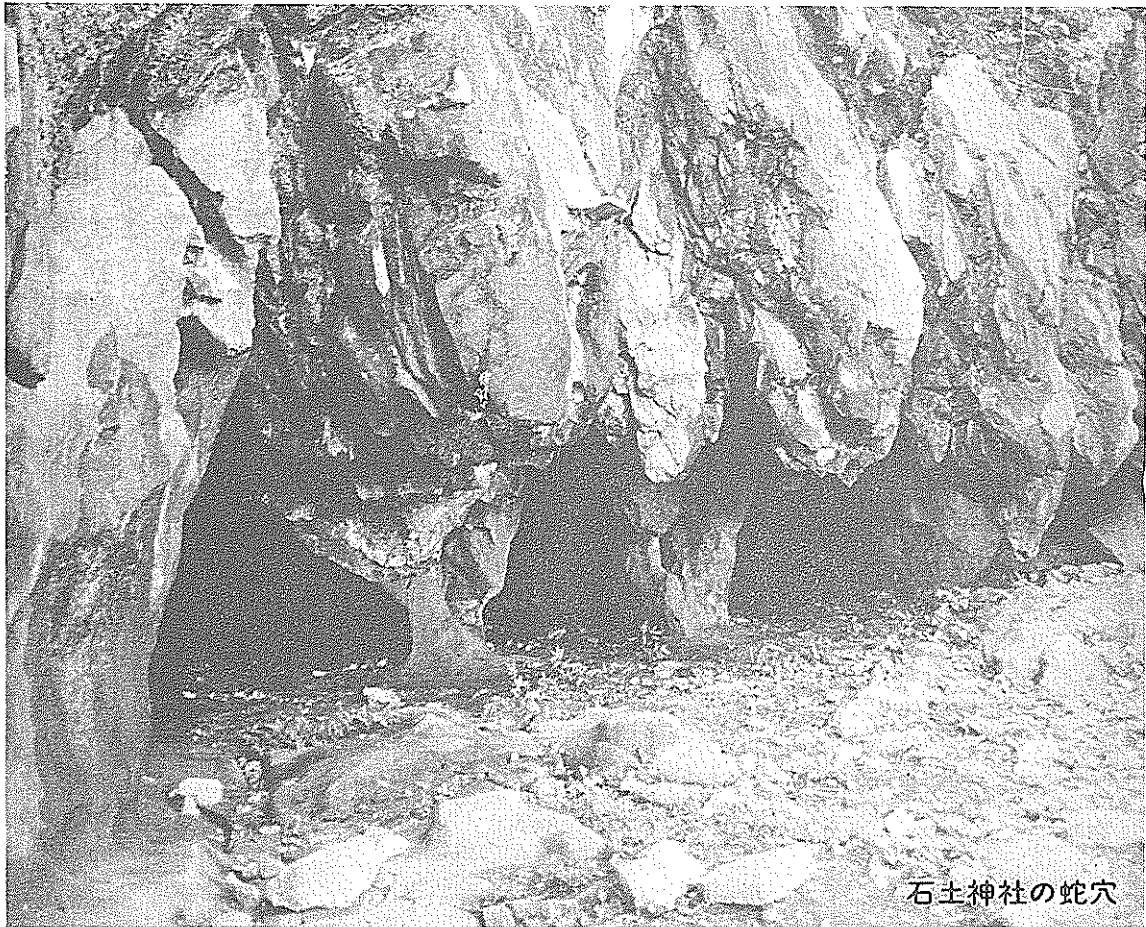
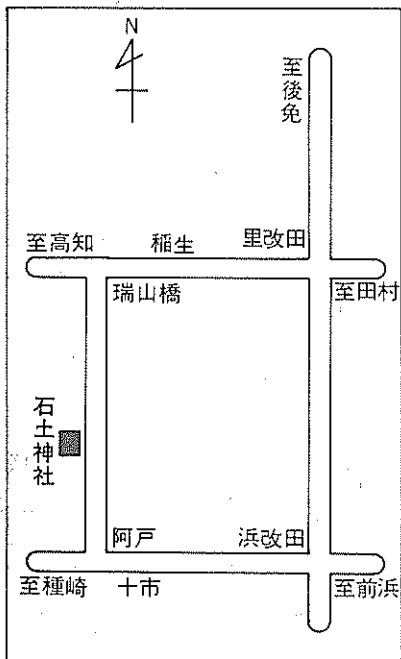


史跡・文化財めぐり①⑥（石土神社）



石土神社の蛇穴



十市の石土にある。日本紀の中に、伊弉諾命が水に入り、磐土命を生んだと記してあるが、この神が石土神社の祭神である。もとは海上鎮護の神であったが、今は農業の神となっている。

後ろには石灰岩の洞窟があり、土地の人は、土市の蛇穴と呼んでいる。その昔、オス・メスの大蛇が住んでいたといわれる。

また峯寺の住持の飼犬が、逃げる兎を追ってこの穴にはいった。ところが1週間目にこの犬が愛媛でみつかったので、蛇穴は伊予まで続いているといわれる。

広報 **なんこく**

8/15 1976 No.224

編集・発行／南国市広報委員会

——として保存しておくくと便利です——